

2012年度 第3四半期決算の概要

2013年1月29日(火)

コマツ

執行役員 経営管理部長

坂野 泰司

1. 2012年10-12月（3カ月間）の実績

2012年10-12月（3カ月間）の連結売上高と損益

・石炭鉱山向け以外の鉱山機械の販売は堅調に推移したものの、インドネシアの石炭鉱山向け需要の減少、中国の需要回復の遅れ等により、対前年同期比減収減益。

□: 利益率 (): 外部顧客向け売上高

金額単位: 億円

	2011年10-12月 1ドル = 77.9円 1ユーロ = 104.9円 1元 = 12.3円	2012年10-12月 1ドル = 80.1円 1ユーロ = 103.5円 1元 = 12.8円	対前年同期比	
			増減	増減率
売上高	4,626	4,197	▲429	▲9.3%
- 建設機械・車両	(4,114) 4,126	(3,679) 3,684	(▲434) ▲441	(▲10.6%) ▲10.7%
- 産業機械他	(512) 530	(517) 534	(+5) +3	(+1.0%) +0.7%
- 消去	▲30	▲21	+8	-
セグメント利益	□12.7% 588	□9.5% 397	▲191	▲32.4%
- 建設機械・車両	□14.3% 588	□10.5% 388	▲200	▲34.0%
- 産業機械他	□3.0% 15	□1.0% 5	▲10	▲67.2%
- 消去または全社	▲15	4	+19	-
その他の営業収益(▲費用)	0	▲5	▲5	-
営業利益	□12.7% 588	□9.3% 392	▲196	▲33.4%
その他の収益(▲費用)	▲34	9	+44	-
税引前純利益	554	402	▲152	▲27.5%
純利益*1	347	249	▲97	▲28.0%

*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」

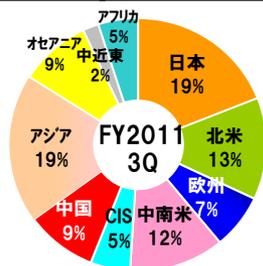
<建設機械・車両> 2012年10-12月(3カ月間)の地域別売上高(外部顧客向け)

4

- ・中南米、オセアニア等において、石炭鉱山向け以外の鉱山機械の販売が堅調に推移したが、インドネシアの需要低迷、中国の需要回復の遅れ等により、対前年同期比▲10.6%の減収。
- ・鉱山機械の売上高は、対前年同期比+3.9%の増収。

(金額単位:億円)		2011年10-12月 (FY11/3Q)	2012年10-12月 (FY12/3Q)	対前年同期比	
				増減	増減率
伝統市場	日本	780	760	▲20	▲2.6%
	北米	552	560	+8	+1.6%
	欧州	291	228	▲63	▲21.7%
戦略市場	中南米	489	629	+139	+28.5%
	CIS	185	244	+58	+31.6%
	中国	355	204	▲150	▲42.4%
	アジア	794	347	▲447	▲56.3%
	オセアニア	385	435	+49	+12.9%
	中近東	72	44	▲28	▲38.8%
	アフリカ	205	222	+17	+8.6%
合計		4,114	3,679	▲434	▲10.6%
うち、鉱山機械		1,339	1,391	+52	+3.9%

地域別売上構成比

 戦略市場
61%

 伝統市場
39%

 戦略市場
58%

 伝統市場
42%

2. 2012年4-12月(9カ月間)の実績

2012年4-12月（9カ月間）の連結売上高と損益

・インドネシアの石炭鉱山向け需要の減少、中国の需要回復の遅れ、ワイヤーソーの需要低迷等により、対前年同期比減収減益。

％：利益率 ():外部顧客向け売上高

金額単位：億円

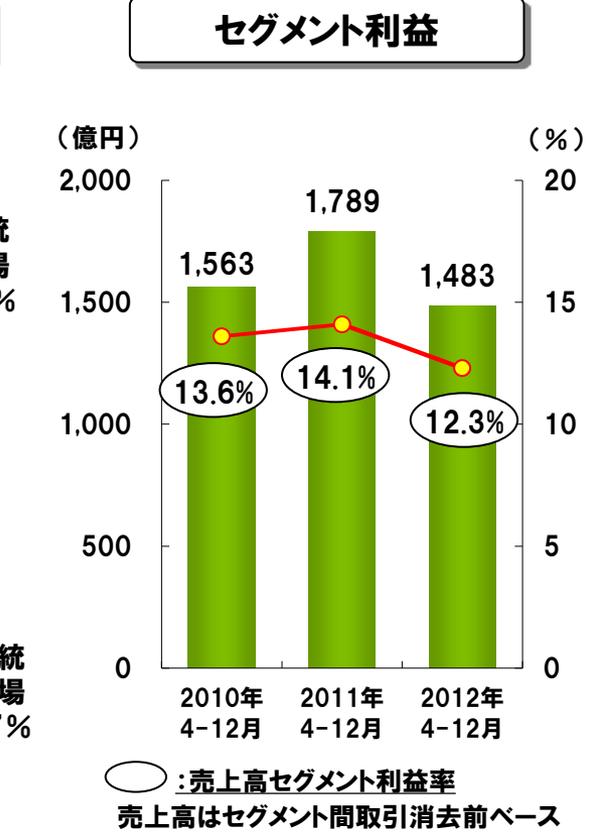
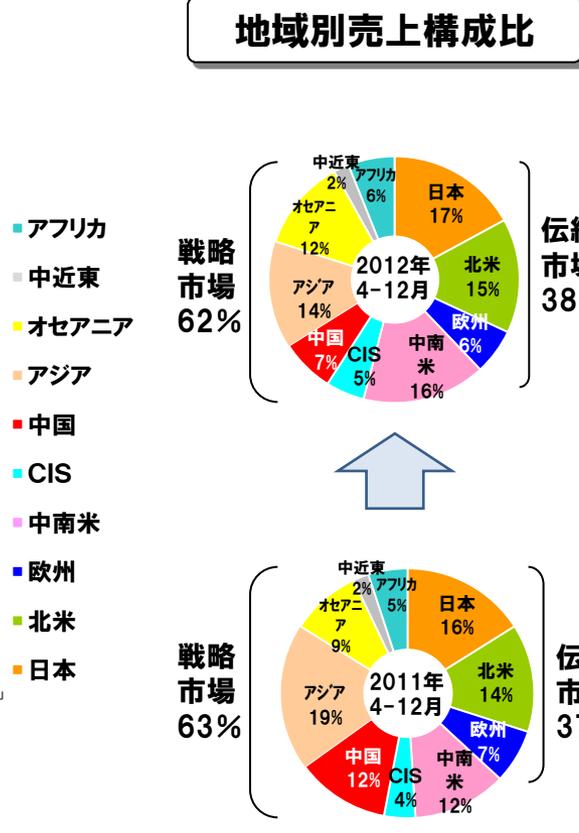
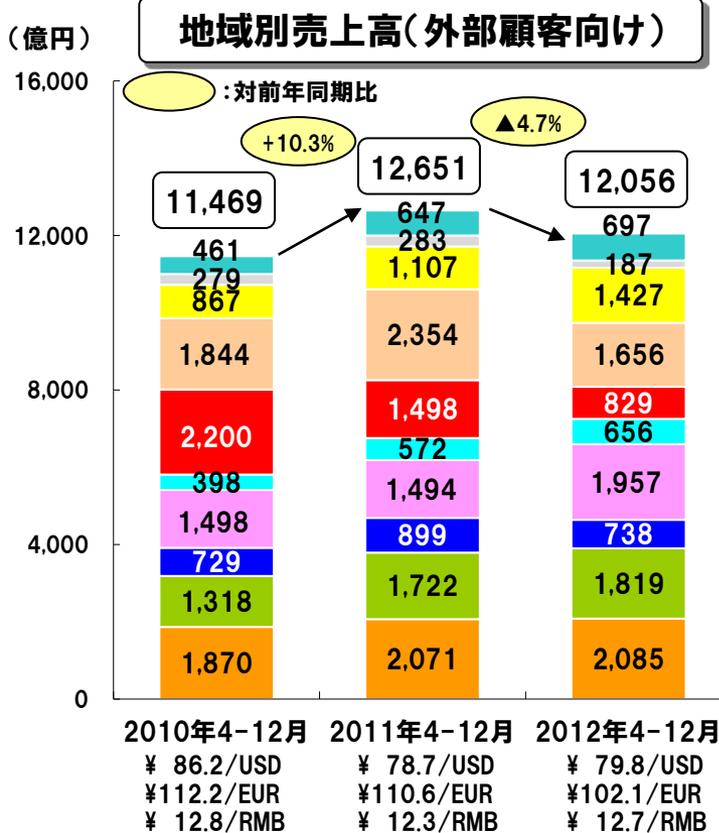
	2011年4-12月 1ドル = 78.7円 1ユーロ = 110.6円 1元 = 12.3円		2012年4-12月 1ドル = 79.8円 1ユーロ = 102.1円 1元 = 12.7円		対前年同期比	
					増減	増減率
売上高	14,485		13,505		▲979	▲6.8%
- 建設機械・車両	(12,651) 12,690		(12,056) 12,076		(▲594) ▲614	(▲4.7%) ▲4.8%
- 産業機械他	(1,834) 1,894		(1,449) 1,506		(▲384) ▲388	(▲21.0%) ▲20.5%
- 消去	▲99		▲76		+23	-
セグメント利益	13.2% 1,916		11.2% 1,510		▲405	▲21.2%
- 建設機械・車両	14.1% 1,789		12.3% 1,483		▲305	▲17.1%
- 産業機械他	8.8% 167		2.5% 38		▲128	▲77.1%
- 消去または全社	▲40		▲11		+29	-
その他の営業収益(▲費用)	1		▲5		▲7	-
営業利益	13.2% 1,918		11.1% 1,504		▲413	▲21.6%
その他の収益(▲費用)	▲61		▲49		+12	-
税引前純利益	1,856		1,455		▲401	▲21.6%
純利益*1	*2 1,293		910		▲382	▲29.6%

*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810による「当社株主に帰属する四半期純利益」

*2 コマツレンタル吸収合併に伴う税効果127億円を含む。

<建設機械・車両> 2012年4-12月(9カ月間)の地域別売上高(外部顧客向け)とセグメント利益

- ・中南米、オセアニア、CISの鉱山機械、北米の建設機械の販売が堅調に推移したものの、インドネシア、中国の需要減の影響により、対前年同期比▲4.7%の減収。
- ・中国、アジアの売上構成比が減少する一方、鉱山機械が堅調な中南米、オセアニアの比率が増加。



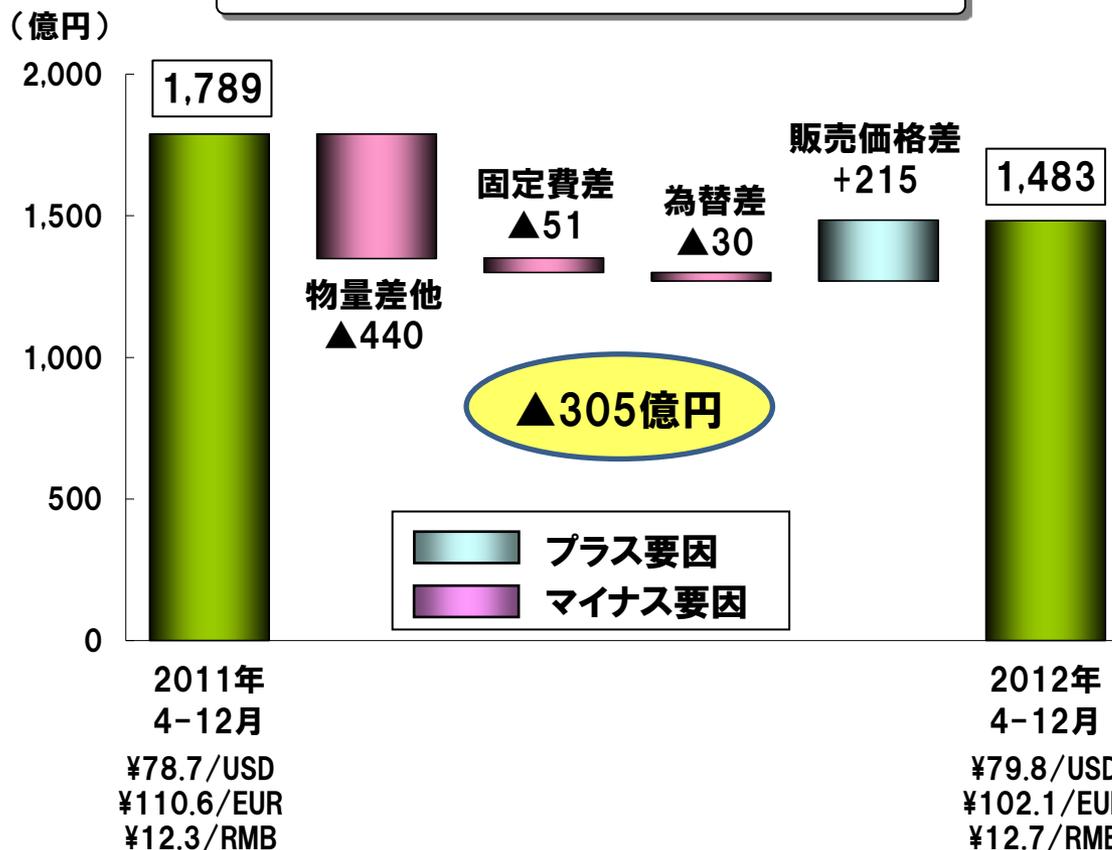
売上高伸率(対前年同期比)

%	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2011年4-12月	+10.7%	+30.6%	+23.3%	▲0.3%	+43.5%	▲31.9%	+27.7%	+27.8%	+1.4%	+40.2%	+10.3%
2012年4-12月	+0.7%	+5.7%	▲17.9%	+31.0%	+14.8%	▲44.6%	▲29.6%	+28.9%	▲33.9%	+7.8%	▲4.7%

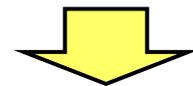
<建設機械・車両> 2012年4-12月(9カ月間) セグメント利益の増減要因

・インドネシアならびに中国での需要減に伴う物量減等の影響を、販売価格の改善により一部カバーしたが、対前年同期比▲305億円の減益。

2011年4-12月 vs. 2012年4-12月



- 【プラス要因】
- ・販売価格差: +215億円
- 【マイナス要因】
- ・物量差他: ▲440億円
 - ・固定費差: ▲51億円
 - ・為替差: ▲30億円



合計 ▲305億円の減益

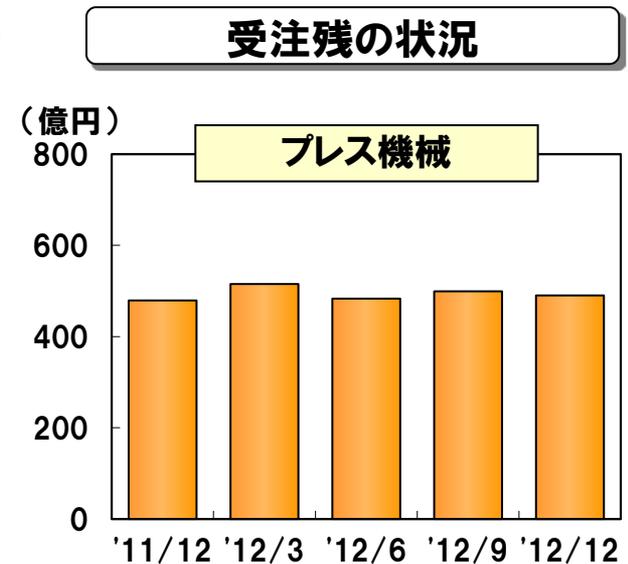
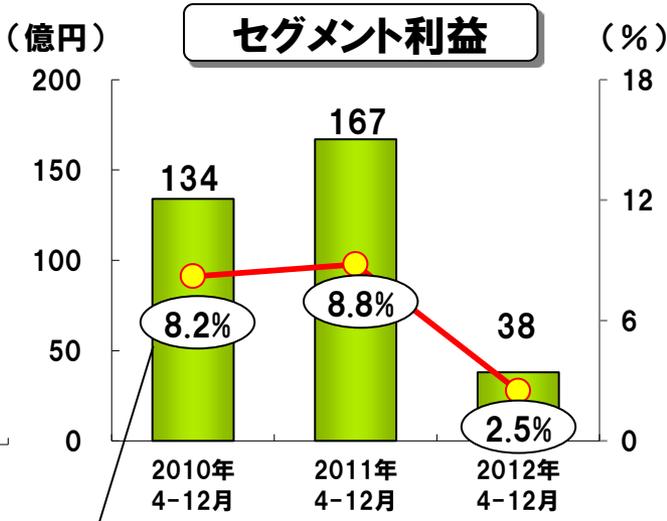
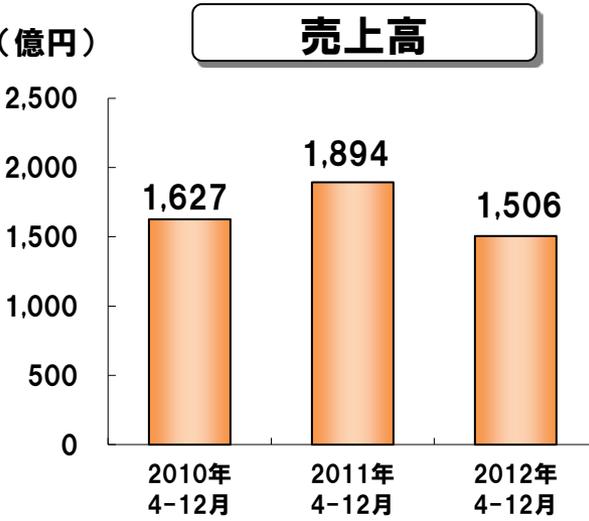
14.1% ——— 売上高セグメント利益率 ——— 12.3%

14.1%

12.3%

<産業機械他> 2012年4-12月(9カ月間)の売上高とセグメント利益

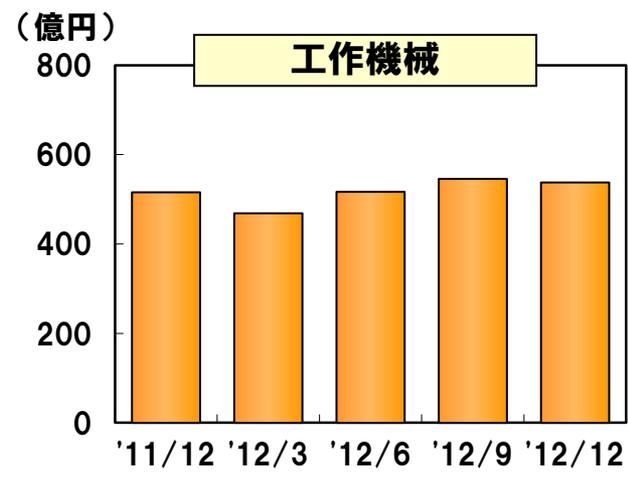
- ・プレス機械、工作機械の需要は堅調であったが、ワイヤーソーの需要低迷、仮設住宅用プレハブハウスの需要一巡等により、対前年同期比減収減益。
- ・プレス機械、工作機械の受注残は引き続き安定的に推移。



売上高の内訳

	2011年4-12月	2012年4-12月	増減
コマツ産機等 (板金鍛圧事業合計)	331	334	+2
コマツNTC [うち、ワイヤーソー]	864 [432]	565 [61]	▲299 [▲370]
その他 [うち、ギガフオン] [うち、コマツハウス]	698 *1 [100] [232]	606 [155] [106]	▲91 [+54] [▲125]
合計	1,894	1,506	▲388

金額単位: 億円



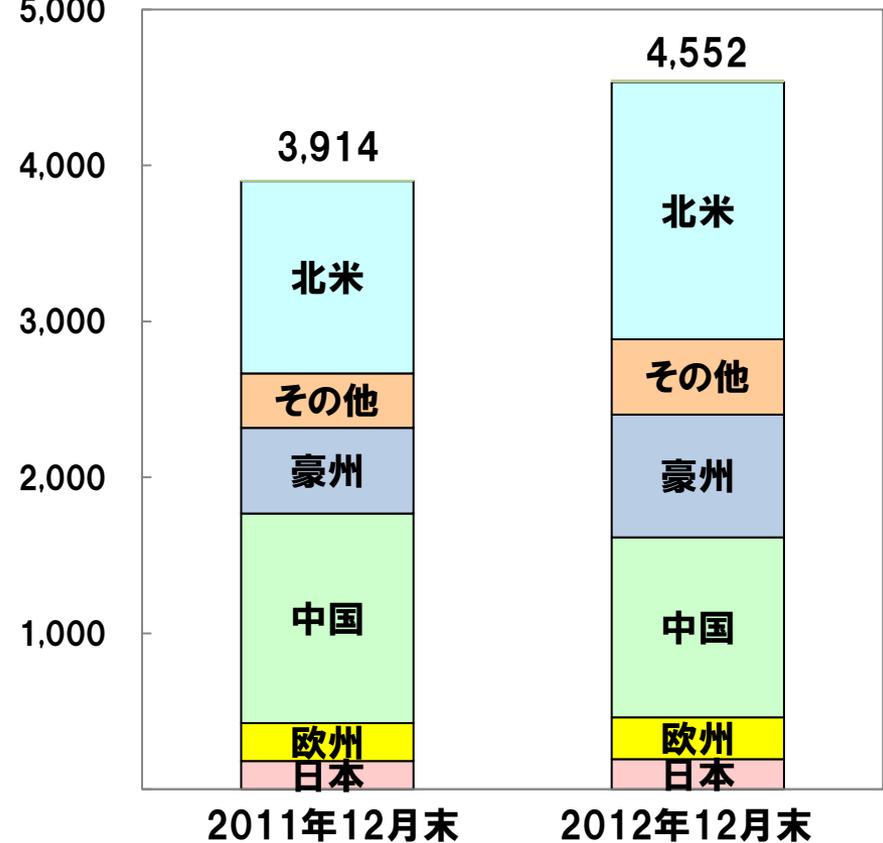
*1 ギガフオンは2011年度第2四半期から新規連結

リテールファイナンスの状況

・資産は、中国で減少したが大幅な円安の影響等により、2011年12月末比で増加。
 ・中国での販売減に対し、北米やチリ、豪州での販売増等により増益。

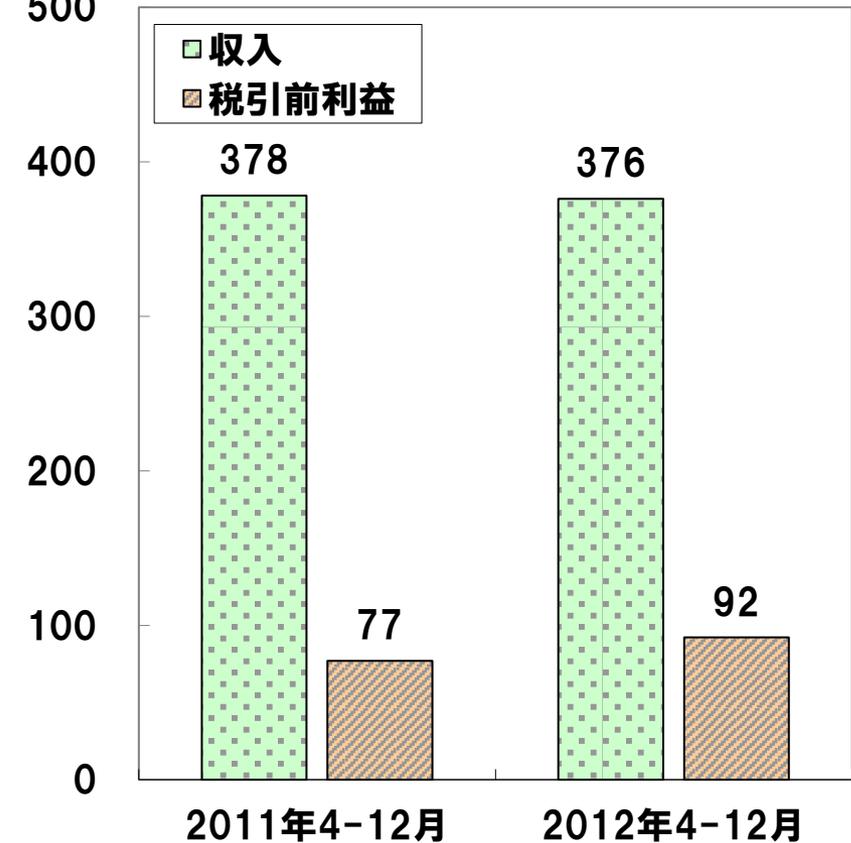
リテールファイナンス子会社の状況

1. 資産の状況



(ドル)	77.7円	86.6円
(ユーロ)	100.7円	114.7円
(元)	12.3円	13.9円

2. 収益の状況



(ドル)	78.7円	79.8円
(ユーロ)	110.6円	102.1円
(元)	12.3円	12.7円

連結貸借対照表

- ・総資産は、為替レートが円安となったこと等により前期末比で+515億円増加。
- ・株主資本比率は同2.6ポイント増の46.1%。

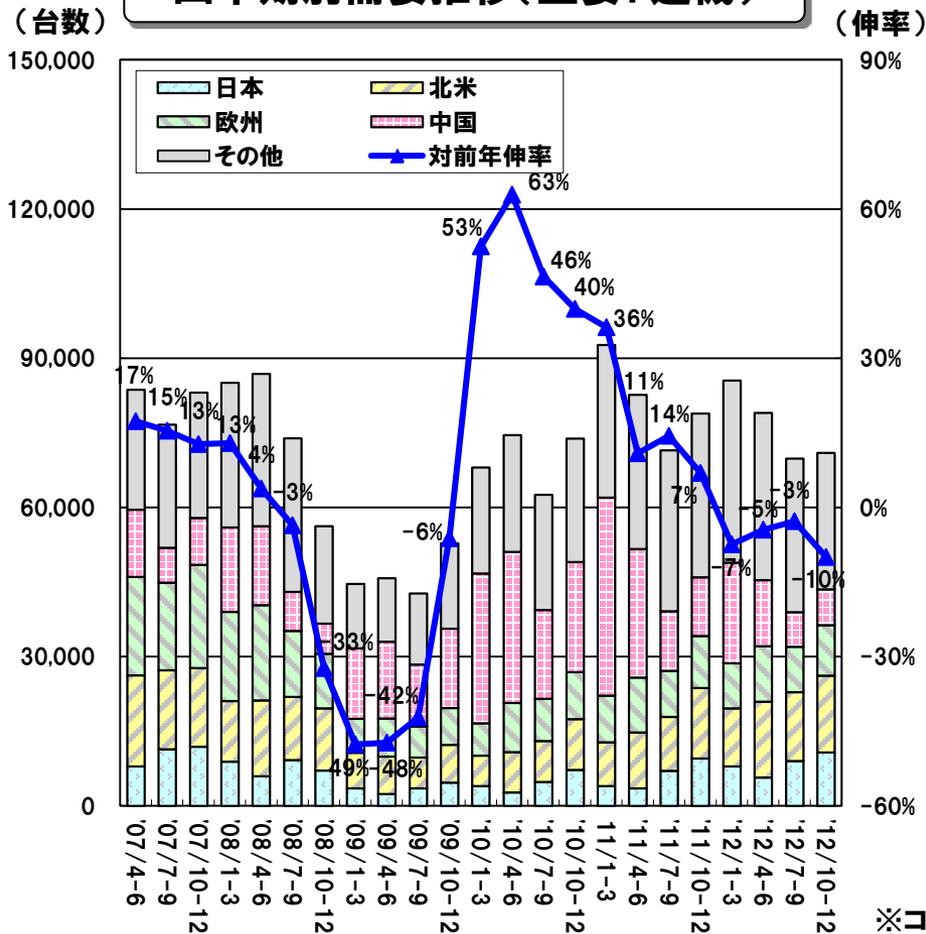
ネットD/Eレシオ	金額単位:億円	2012.3.31 1ドル=82.2円 1ユーロ=109.8円 1元=13.1円	2012.12.31 1ドル=86.6円 1ユーロ=114.7円 1元=13.9円	増減
現金・預金(含む定期預金) [a]		839	951	+111
受取手形・売掛金(含む長期売上債権) ＜除くリテールファイナンス会社＞		7,440 <3,975>	7,131 <3,441>	▲308 <▲533>
棚卸資産		6,123	6,524	+400
有形固定資産		5,296	5,647	+350
その他資産		3,504	3,465	▲39
資産合計		23,205	23,721	+515
支払手形・買掛金		2,734	2,028	▲706
借入金・社債 [b] ＜除くリテールファイナンス会社＞		6,478 <3,369>	7,041 <3,736>	+563 <+366>
その他の負債		3,418	3,194	▲223
負債合計		12,630	12,264	▲365
(株主資本比率)		(43.5%)	(46.1%)	(+2.6ポイント)
株主資本		10,096	10,941	+844
非支配持分		477	514	+37
負債及び純資産合計		23,205	23,721	+515
ネットベースの借入金・社債 [b-a]		0.56 5,638	0.56 6,090	+452
ネットD/Eレシオ(リテールファイナンス会社を除いた場合)		0.28	0.29	

3. 建設・鉱山機械の需要状況と今後の見通し

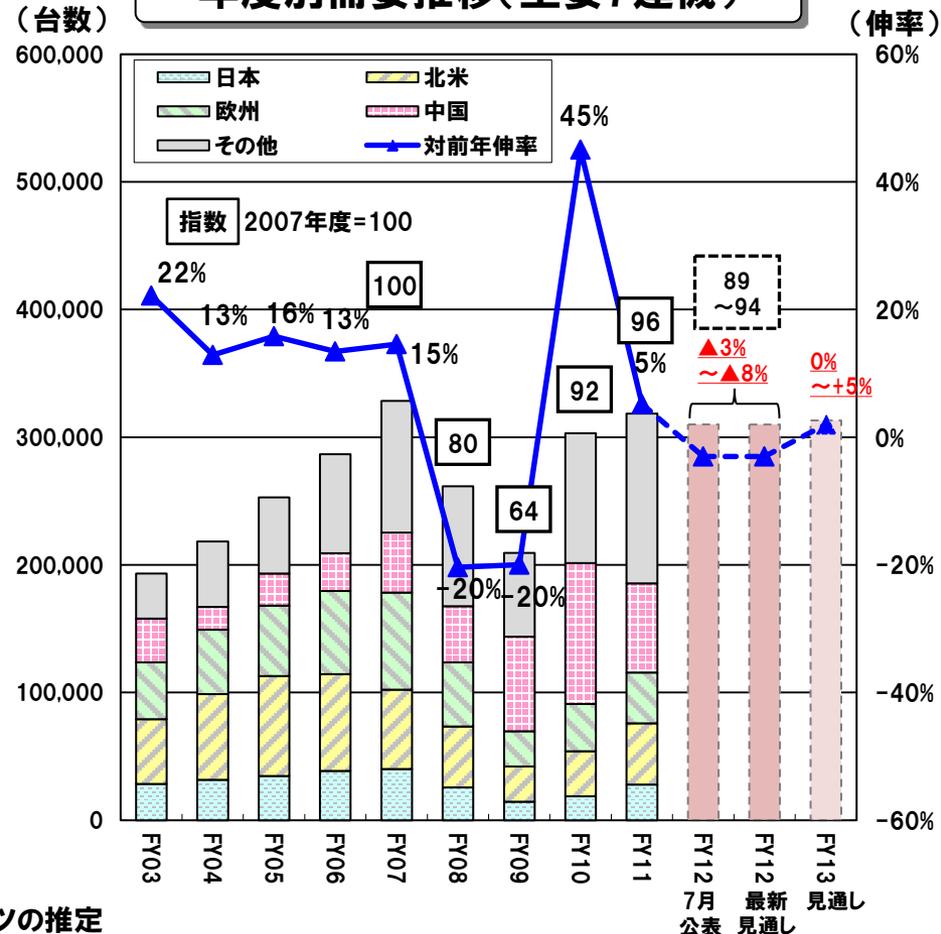
<建設・鉱山機械> 主要7建機需要推移

- ・第3四半期の需要は、日本、北米が堅調に推移する一方、インドネシア、中国が低調に推移し、対前年同期比▲10%。
- ・2012年度の需要は、2012年7月公表値と同水準の見通し。(前期比▲3%~▲8%)。
- ・2013年度の需要は、引き続き日本、北米が底堅く推移するとともに、中国の需要底打ちが見込まれ、2012年度並みの水準(2012年度比0%~+5%)となる見通し。

四半期別需要推移(主要7建機)



年度別需要推移(主要7建機)



※コマツの推定

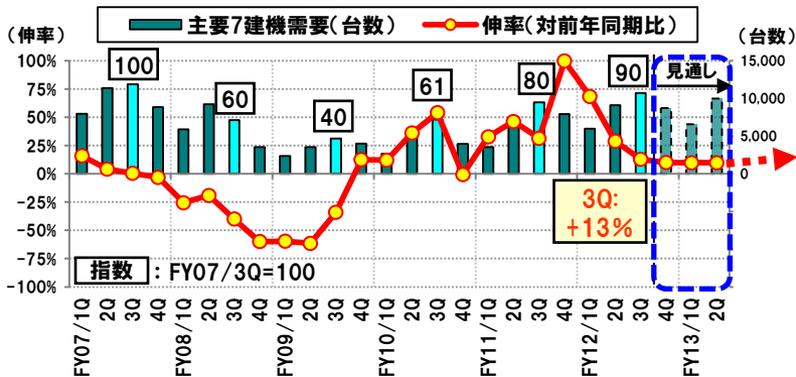
<建設・鉱山機械> 主要市場の需要推移①: 伝統市場

- ・第3四半期の日本の需要は、対前年同期比+13%増。震災復興需要の本格化により第4四半期以降も堅調に推移する見通し。
- ・第3四半期の北米の需要は、レンタル向け、住宅向けが堅調に推移し、対前年同期比+9%増。住宅市場の回復基調に伴い、第4四半期以降も堅調に推移する見通し。
- ・第3四半期の欧州の需要は、対前年同期比▲3%減。第4四半期以降も引き続き低い水準で推移する見通し。

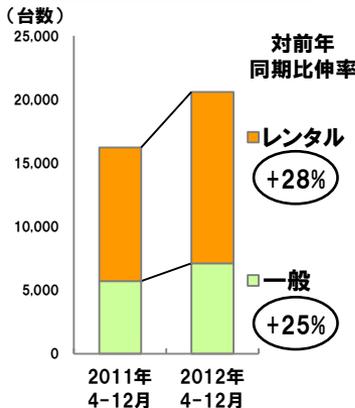
日本

2012年7-9月: 対前年同期比 +29%
2012年10-12月: 対前年同期比 +13%

<主要7建機需要>



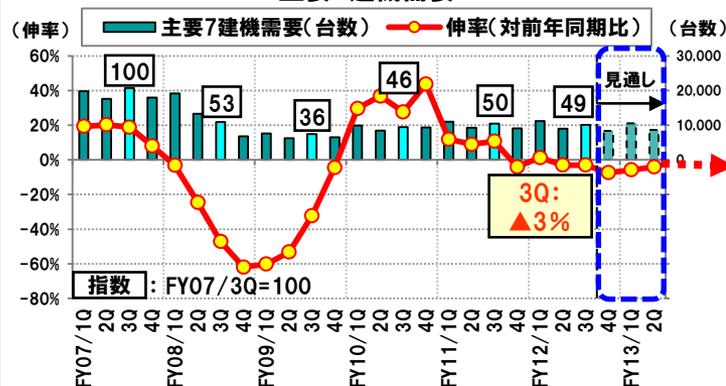
国内油圧ショベル需要 (一般/レンタル)



欧州

2012年7-9月: 対前年同期比 ▲3%
2012年10-12月: 対前年同期比 ▲3%

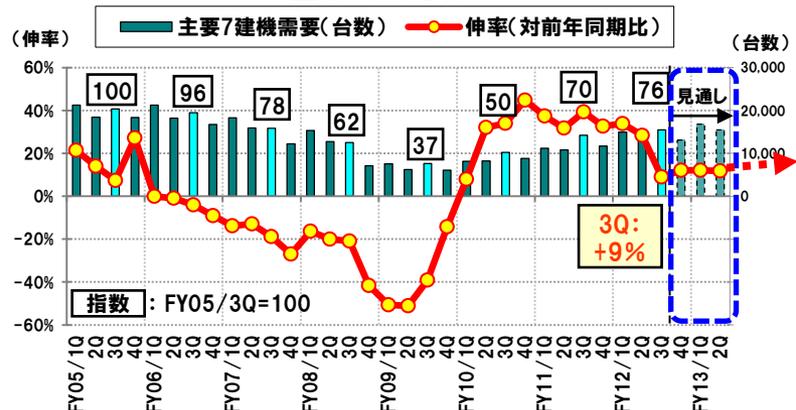
<主要7建機需要>



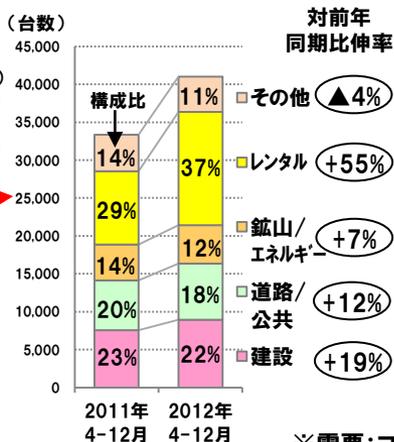
北米

2012年7-9月: 対前年同期比 +28%
2012年10-12月: 対前年同期比 +9%

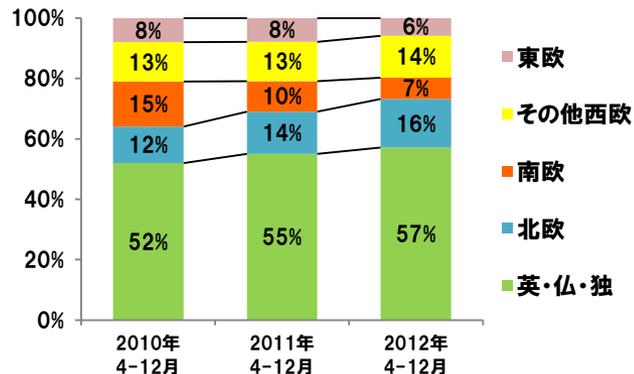
<主要7建機需要>



北米 セグメント別需要



欧州 地域別需要構成比



※需要: コマツの推定

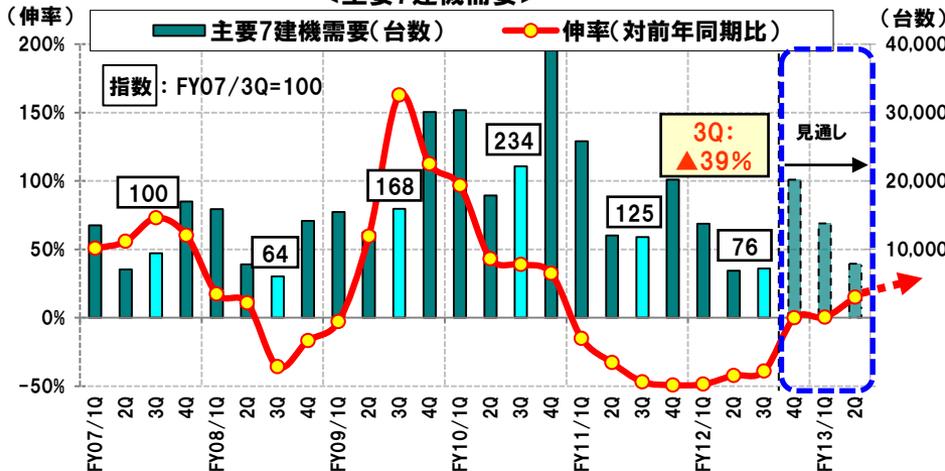
<建設・鉱山機械> 主要市場の需要推移②：中国

- ・第3四半期の中国の需要は、対前年同期比での減少幅が縮小し、▲39%。
- ・第4四半期以降の需要は、春節明けの底打ちが見込まれ、2013年度上期は、2012年度上期並みの水準に回復の見通し。

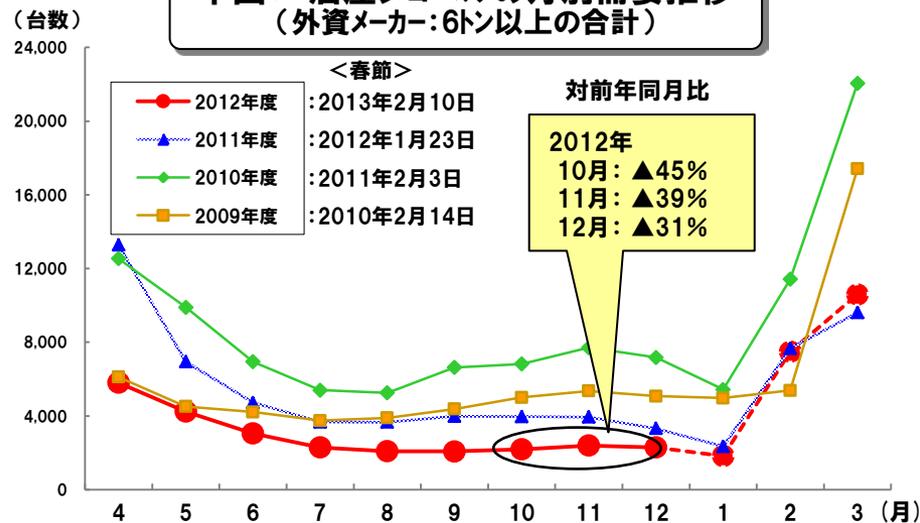
中国

2012年7-9月： 対前年同期比 ▲43%
 2012年10-12月： 対前年同期比 ▲39%

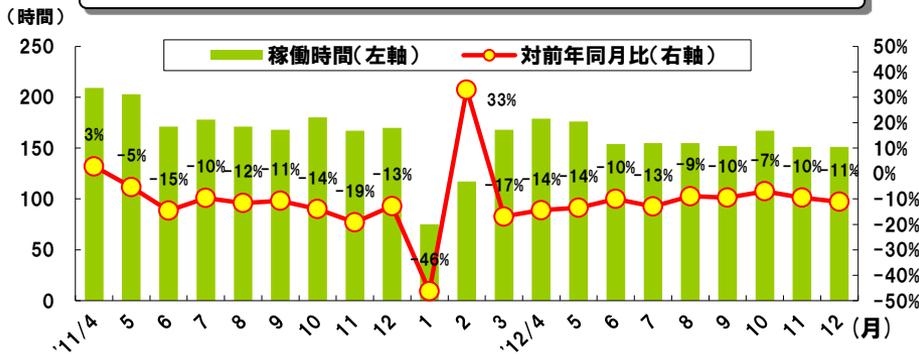
<主要7建機需要>



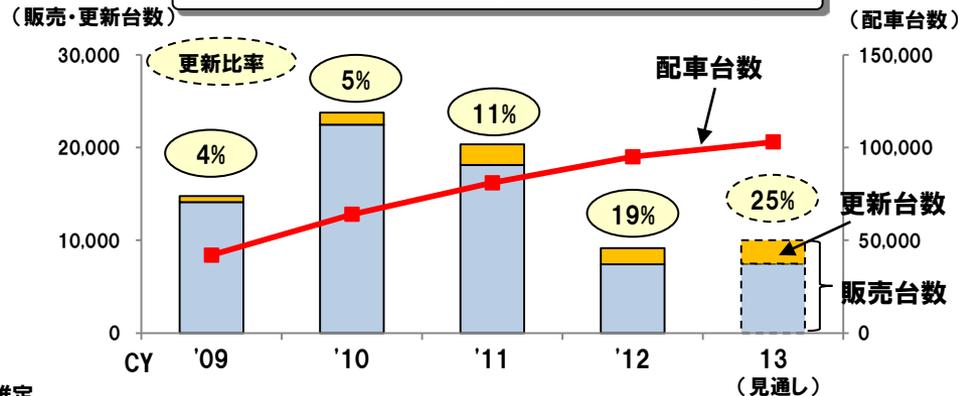
中国：油圧ショベルの月別需要推移 (外資メーカー：6トン以上の合計)



KOMTRAX(中国) 月平均稼働時間・対前年同月比



中国：販売・更新台数と更新比率の推移



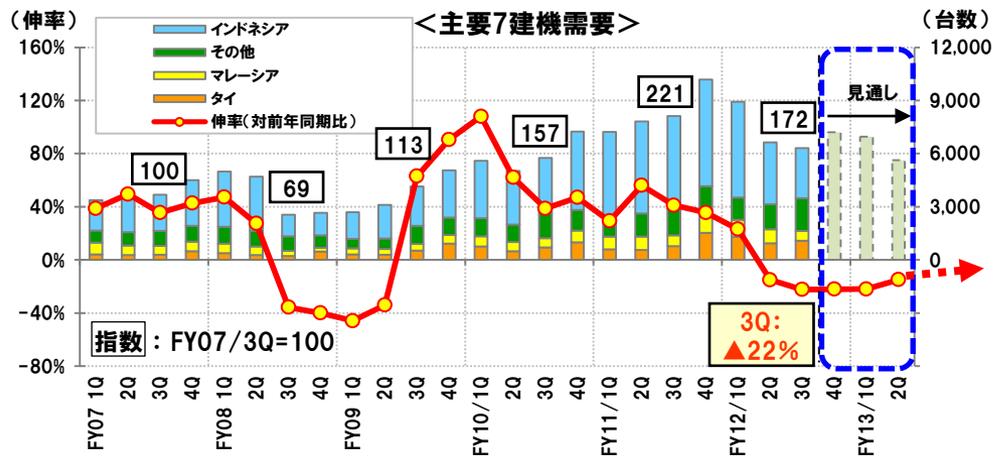
※需要：コマツの推定

＜建設・鉱山機械＞ 主要市場の需要推移③：東南アジア

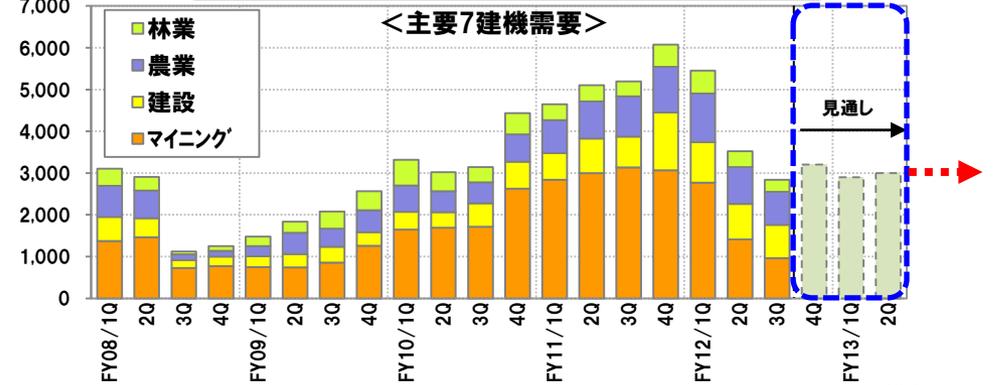
・第3四半期の東南アジアの需要は、インドネシアの石炭鉱山向け需要低迷により、対前年同期比▲22%。
 ・燃料炭価格はやや持ち直しているが、本格的な回復には時間がかかる見通し。インドネシアの需要は下げ止まりが見込まれるが、当面は低い水準で推移する見通し。

東南アジア

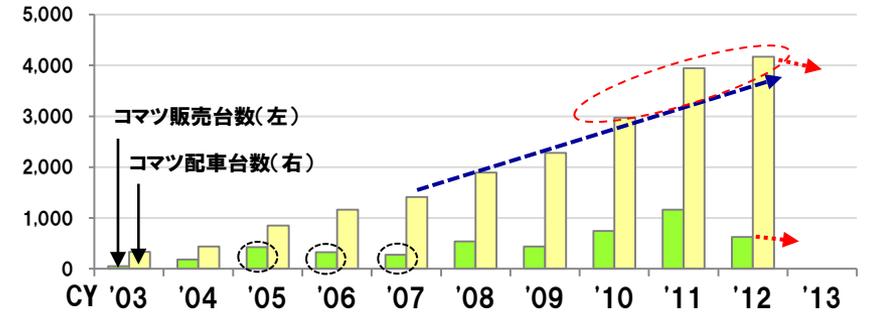
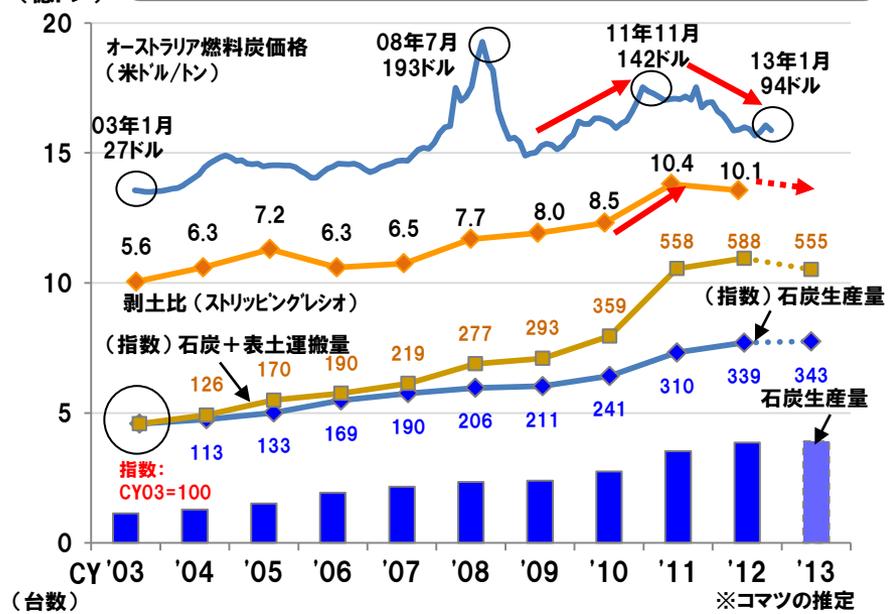
2012年7-9月： 対前年同期比 ▲15%
 2012年10-12月： 対前年同期比 ▲22%



インドネシア：分野別需要推移



インドネシア 石炭生産量・運土量
 コマツ配車/販売台数推移

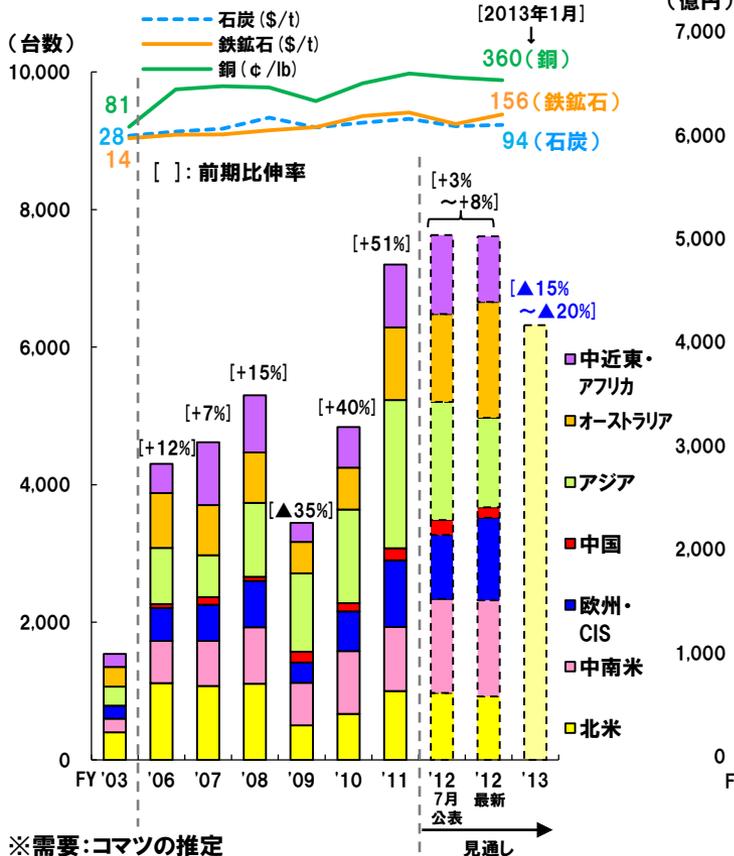


<建設・鉱山機械> 鉱山機械 地域別需要とコマツの売上高

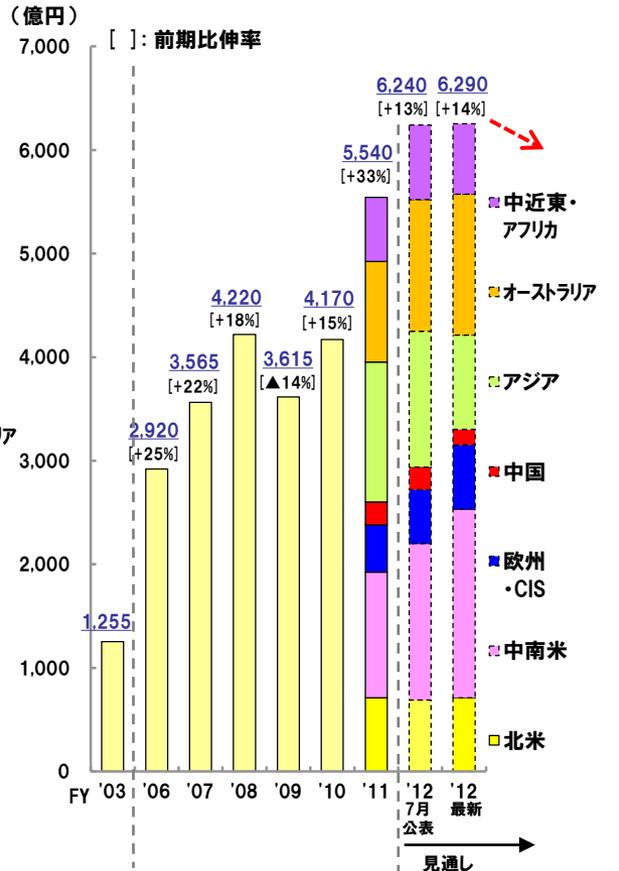
- ・2012年度の需要は、地域間の変動はあるものの、7月公表値と同水準の見通し(前期比+3%~+8%)。
- ・2013年度の需要は 2012年度の水準に対して▲15%~▲20%の見通し。
- ・2012年度の売上高は、インドネシア向けの販売は減少するものの、中南米、オーストラリア等での販売増および円安の影響により、7月公表見通しを50億円上回り、前期比+14%増収となる6,290億円の見通し。

鉱山機械 地域別需要推移

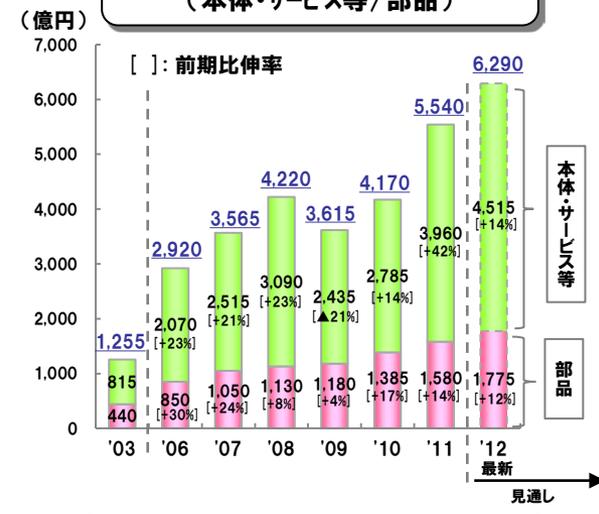
・ダンプトラック:75t (HD785) 以上 ・ブルドーザ:525HP (D375) 以上
 ・エクスカベータ:200t (PC2000) 以上 ・ホイールローダ:810HP (WA800) 以上
 ・モータグレーダ:280HP (GD825) 以上



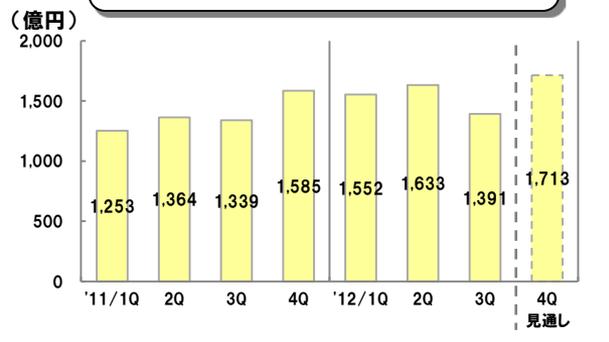
鉱山機械 地域別売上高 (部品・サービス含む)



鉱山機械 売上高 (本体・サービス等/部品)



鉱山機械 四半期売上高 (部品・サービス含む)



2012年度 年間業績見通し

18

- ・インドネシアの石炭鉱山向け需要の低迷等を反映し、2012年7月31日に公表した業績見通しを修正。
 ・7月公表の連結売上高見通しに対し、インドネシア向けの販売数量減等▲900億円、円安による為替差
 +400億円を織り込み、計▲500億円減収の見通し。営業利益は▲320億円減の2,300億円の見通し。

% 利益率 ():外部顧客向け売上高

2012年度第4四半期 想定為替レート
 1ドル=88円、1ユーロ=115円、1元=14.1円

金額単位:億円

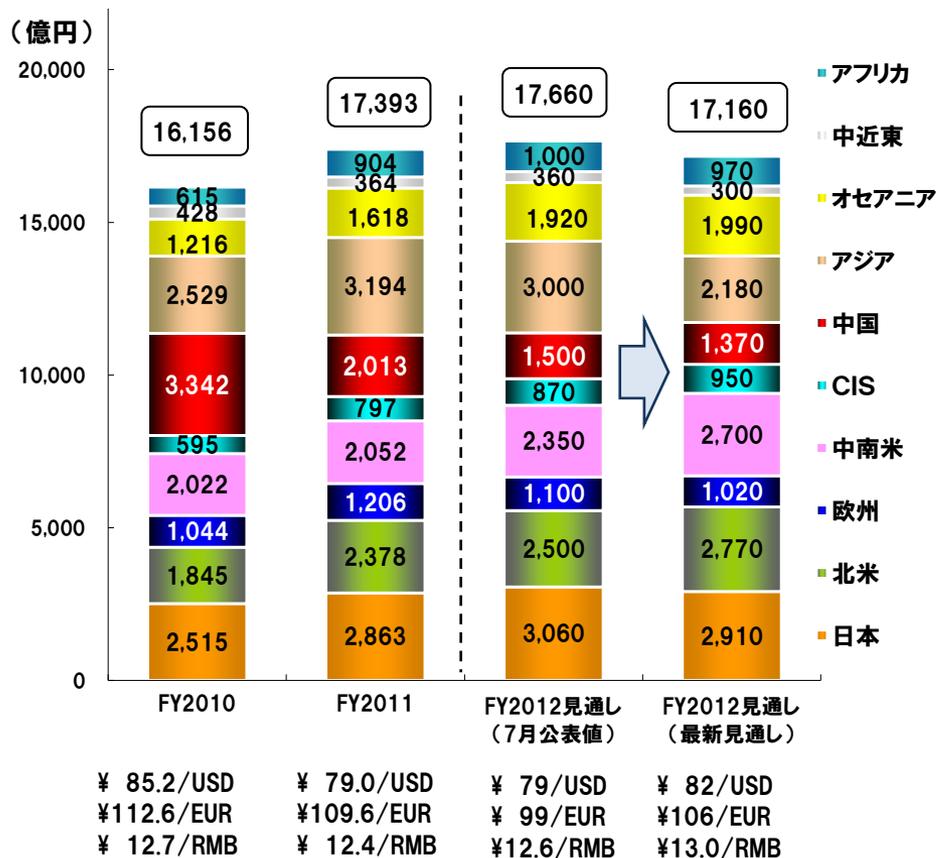
	FY2011/年間 (実績) (A) 1ドル=79.0円 1ユーロ=109.6円 1元=12.4円	FY2012/年間 (7月公表値) (B) 1ドル=79円 1ユーロ=99円 1元=12.6円	FY2012/年間 (最新見通し) (C) 1ドル=82円 1ユーロ=106円 1元=13.0円	7月公表値との差 (C-B)		対前期比 (C-A)	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	19,817	19,700	19,200	▲500	▲2.5%	▲617	▲3.1%
- 建設機械・車両	(17,393) 17,442	(17,660) 17,700	(17,160) 17,200	(▲500) ▲500	(▲2.8%) ▲2.8%	(▲233) ▲242	(▲1.3%) ▲1.4%
- 産業機械他	(2,424) 2,511	(2,040) 2,100	(2,040) 2,100	(0) 0	(0.0%) 0.0%	(▲384) ▲411	(▲15.8%) ▲16.4%
- 消去	▲136	▲100	▲100	0	-	+36	-
セグメント利益	13.1% 2,586	13.5% 2,650	12.1% 2,330	▲320	▲12.1%	▲256	▲9.9%
- 建設機械・車両	14.1% 2,462	14.9% 2,640	13.5% 2,320	▲320	▲12.1%	▲142	▲5.8%
- 産業機械他	6.7% 167	2.9% 60	1.9% 40	▲20	▲33.3%	▲127	▲76.2%
- 消去または全社	▲44	▲50	▲30	+20	-	+14	-
その他の営業収益(▲費用)	▲23	▲30	▲30	0	-	▲6	-
営業利益	12.9% 2,563	13.3% 2,620	12.0% 2,300	▲320	▲12.2%	▲263	▲10.3%
その他の収益(▲費用)	▲67	▲100	▲80	+20	-	▲12	-
税引前当期純利益	2,496	2,520	2,220	▲300	▲11.9%	▲276	▲11.1%
純利益 *1	1,670	1,570	1,380	▲190	▲12.1%	▲290	▲17.4%

*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

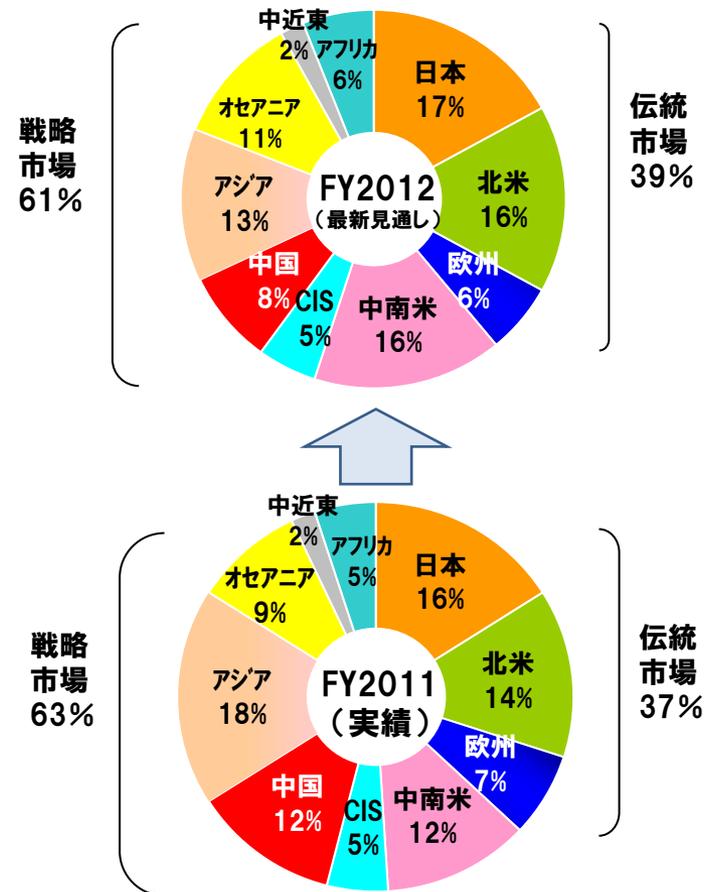
<建設機械・車両> 2012年度年間 地域別売上高見通し(外部顧客向け)

・建設機械・車両部門の2012年度売上高(外部顧客向け)は、7月公表見通しに対し、インドネシアの需要低迷等に伴う販売減▲900億円、円安による為替差+400億円を織り込み、合計▲500億円減収の1兆7,160億円となる見通し。

建設機械・車両 地域別売上高 (外部顧客向け)

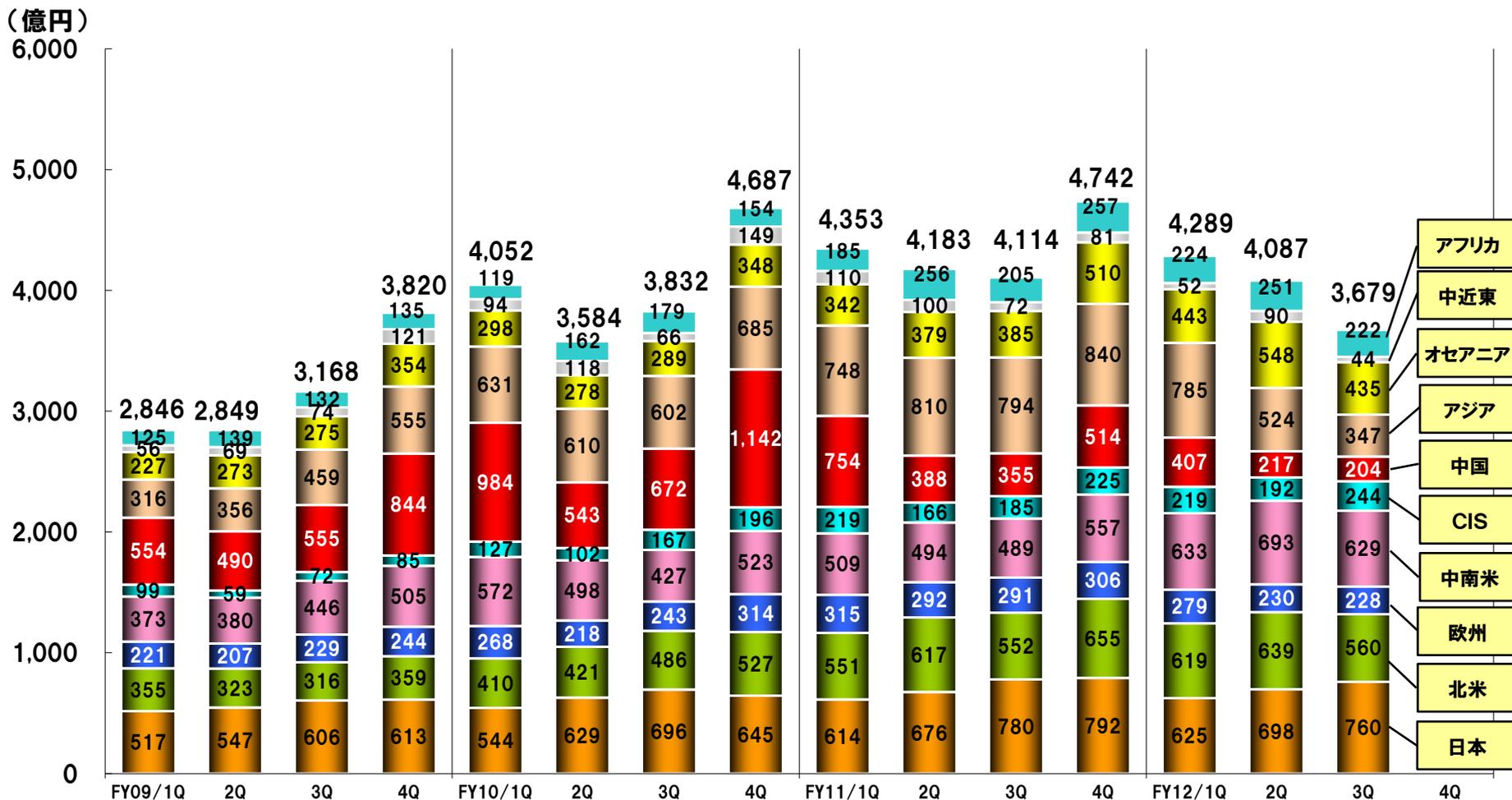


地域別売上構成比



< 参考資料 >

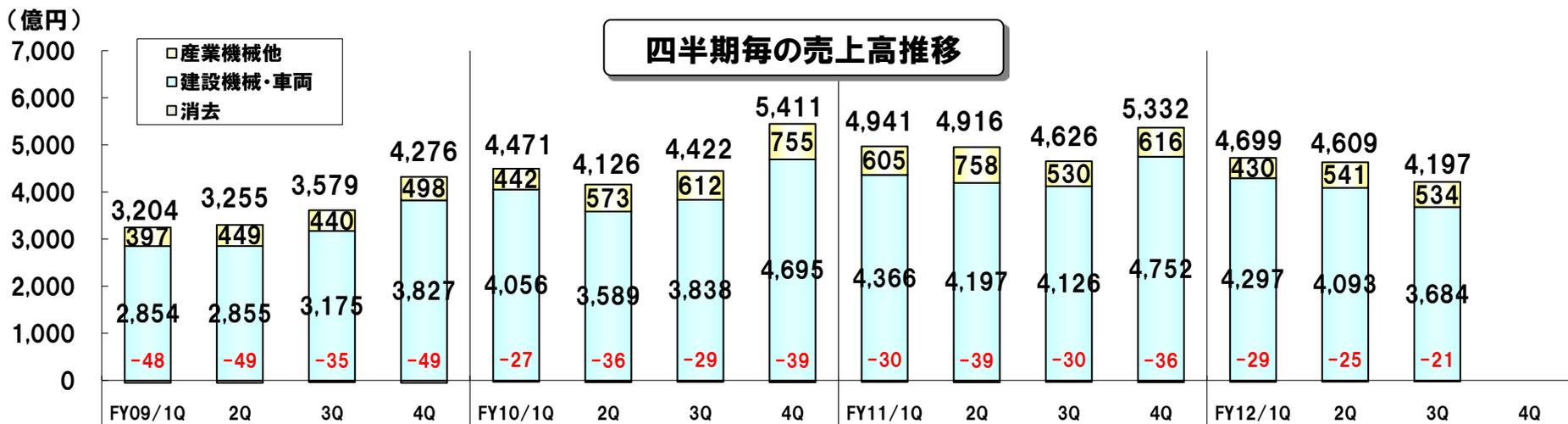
<建設機械・車両> 四半期毎の地域別売上高(外部顧客向け)



【為替レート】

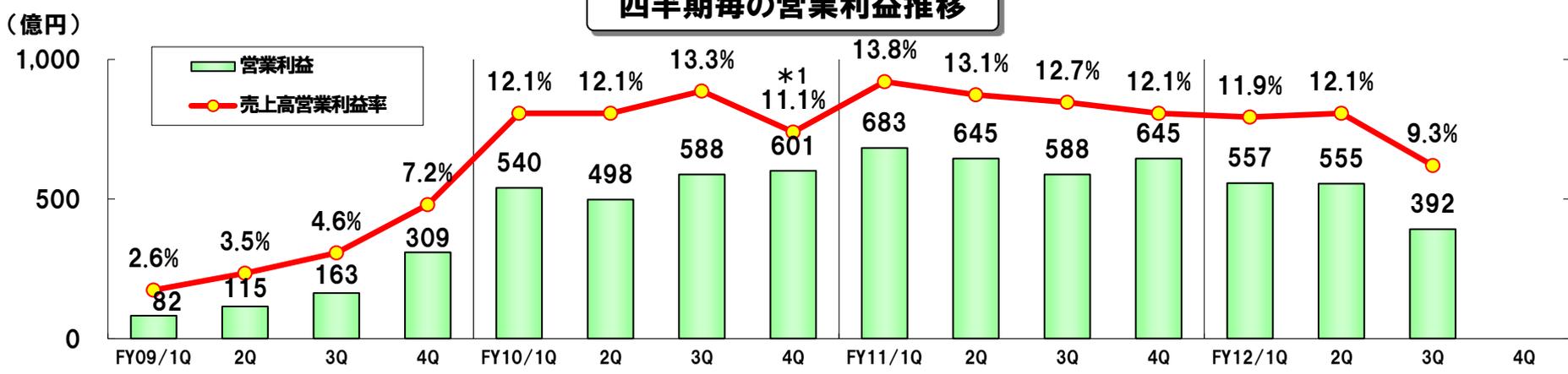
	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	78.7円	80.1円	円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	98.3円	103.5円	円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	12.4円	12.8円	円

四半期毎の売上高と営業利益の推移



【為替レート】

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	78.7円	80.1円	円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	98.3円	103.5円	円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	12.4円	12.8円	円

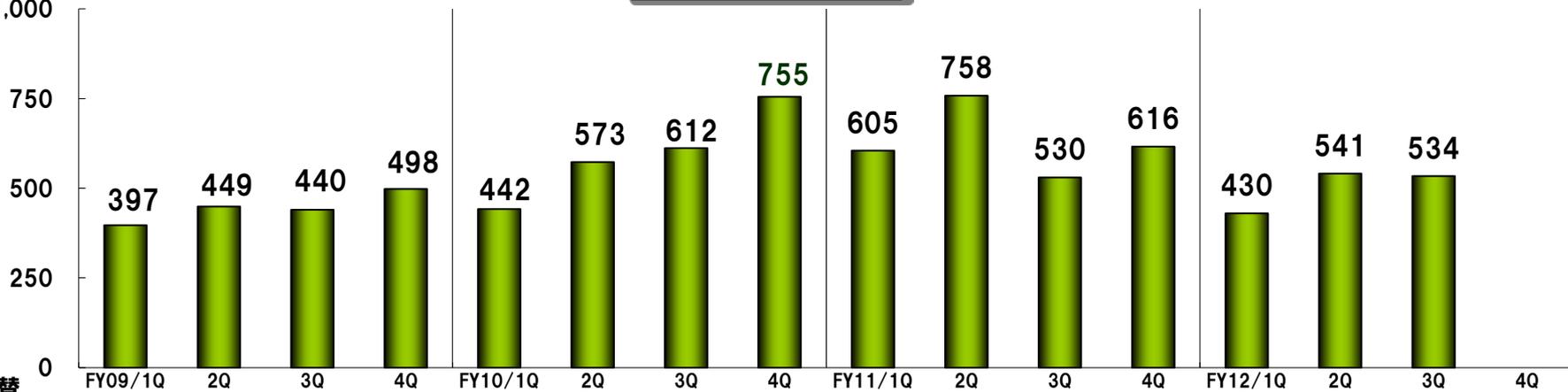


*1 震災による影響 ▲70億円を含む

<産業機械他> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

(億円)
1,000

売上高推移

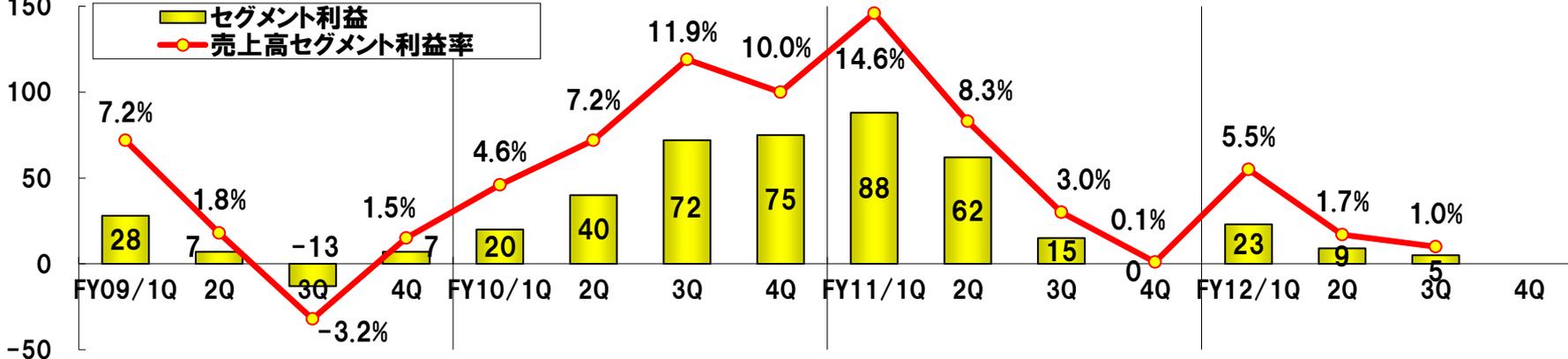


【為替レート】

	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	10/4Q	11/1Q	11/2Q	11/3Q	11/4Q	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q
ドル	96.8円	92.8円	90.1円	90.8円	91.3円	85.0円	82.2円	82.3円	81.2円	77.1円	77.9円	79.8円	80.6円	78.7円	80.1円	円
ユーロ	133.5円	133.0円	132.6円	123.7円	114.8円	111.5円	110.4円	113.8円	118.3円	108.7円	104.9円	106.3円	104.6円	98.3円	103.5円	円
元	14.2円	13.6円	13.2円	13.3円	13.4円	12.6円	12.4円	12.5円	12.5円	12.1円	12.3円	12.7円	12.8円	12.4円	12.8円	円

(億円)
150

セグメント利益推移





国内でのハイブリッド油圧ショベル
累計導入台数が1,000台を突破

【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

コマツ 経営管理部 TEL: 03-5561-2687
FAX: 03-3582-8332
<http://www.komatsu.co.jp/>